



まさきちょう 松前町

〒791-3192
伊予郡松前町大字筒井631番地

電話
番号 (089)
985-2111

地域
指定 農工 T・T 農振

FAX (089)
985-4148
(代表)

沿革

昭30. 3.31 合体 松前町・北伊予村・岡田村

市町村のあらまし

北緯33度47分、東経132度43分に位置し、道後平野の西南部にあたり、県都松山市から西南10kmの所にある。

江戸時代には松山藩に属し、寛永12年、久松定行が同地に封ぜられて以来、明治維新に至るまで、松山藩の領内であった。

農業は、都市近郊型農業であり、米麦を中心にネギ・レタス・イチゴなどを生産し、近海漁業もあり、また地場産業として海産珍味加工業がある。

由来

昭和30年3月に、旧松前町、岡田村、北伊予村が合併する。町名の由来については、1603年(慶長8)、加藤嘉明が正木(まさき)城(現松前町)から勝山(現松山市)に居城を移し、「松山城」と命名した際に、松山(城)の前の意で「松前(まさき)」に改字したといわれているが、他にも諸説あり詳細は不明。

庁舎の建設年度

建築年度	増 改 築	主な増改築箇所
平10年度		

行政組織

(平成25.4.1現在)

区 分	名 前	任 期
町 長	しろいし かつや 白石 勝也	平成27.12.10
副町長	栗田 哲志	平成27. 3.31
(防災担当)	中矢 博史	平成28. 3.31

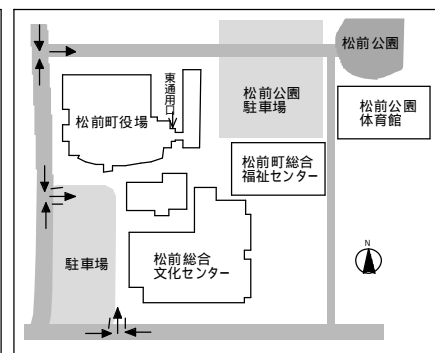
議 会 (平成25.9.25現在)

議長	三好 勝利	副議長	松本 一二美
議員	(条例定数)	14人	
	(現 員)	14人	
任期	平成27. 9. 5		

職員数(平成25.4.1現在)

普通会計	190人
企業会計	12人
その他会計	17人
計	219人

地 図



(交通機関) 伊予鉄松前駅下車徒歩5分

人口・世帯数

()は増減率

区 分	60国調	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	25.3.31住基
人 口	4.1%) 28,697	(2.5%) 29,407	(2.4%) 30,106	(0.6%) 30,277	(0.9%) 30,564	(0.7%) 30,359	31,124
男	13,732	13,986	14,281	14,355	14,460	14,315	14,776
女	14,965	15,421	15,825	15,922	16,104	16,044	16,348
世帯数	8,396	9,050	9,857	10,508	11,036	11,308	12,917

年齢構成 (平22国調)

選挙人名簿
登録者数 (平25.9.2現在)

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上	男	女
人 口	4,201 人	18,518 人	7,626 人	11,961 人	13,533 人
構成比	13.8 %	61.0 %	25.1 %	計	25,494 人

土地利用

(平22.2.1現在) (ha. %)

総 面 積	林 野 面 積	林 野 率	経営耕地面積			宅 地 化 率
平24.10.1(k㎡)			田	畑	樹園地	平24.1.1
20.32	-	-	763	740	19	4
						32.3

産 業 産業構造

(百万円・人)

区 分	総生産額(平22年度)		就業人口(平22国調)	
第1次	1,217	1.8 %	885	6.3 %
第2次	13,035	19.5 %	3,846	27.4 %
第3次	52,674	78.7 %	9,078	64.7 %
計	66,926	100.0 %	14,021	98.5 %

(注)「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業 (平23年)

(百万円)

所得 (平22年度)

品 名	製造品出荷額等	1人当たり 市町民所得	千円
繊維	44,715	2,386	
食料	27,958		

平成24年度の主な建設事業

(百万円)

今後の主な建設事業

(百万円)

事 業 名	事業費	事 業 名	事業費
学校施設耐震等事業	919	学校施設耐震等事業	2,000
公共下水道事業	137	公共下水道事業	618
消防施設整備事業	29	消防施設整備事業	89
北黒田海岸整備事業	13	北黒田海岸整備事業	302
土地改良事業	105	町道西古泉筒井線新設事業	1,180
町道等維持事業	105	国体施設整備事業	684
町道整備事業	64	JR車両基地・貨物駅等周辺整備対策事業	448
町営・改良住宅管理事業	26	文化センター維持管理事業	127
浸水対策事業	19		
下水路等維持管理事業	17		

観光・レクリエーション

名勝旧跡 観光施設	重信川河口砂洲 松前城跡 義農公園 福德泉公園 ひょこたん池公園 有明公園 松前公園 筒井門柱礎石 五輪の塔 高忍日売神社の絵馬「四季農耕図」
祭 り 催 し 物	義農祭(4月23日) 松前港祭り(5月3日) 中川原ひまわり祭り(7月下旬～8月上旬の日曜日) まさき町夏祭り(8月第1土曜日) 秋祭(10月13日～15日) 文化祭(10月最終土・日曜日) まさき町産業まつり たわわ祭(秋開催)
公 営 宿泊施設	

名物・特産品

海産珍味 ハモ チリメン レタス イチゴ ネギ はだか麦

主な公共施設

松前総合文化センター 公民館 し尿処理場 老人憩の家 町民グランド 健康増進センター 児童館 松前公園 有明公園 ひょこたん池公園 福德泉公園 松前町総合福祉センター 松前浄化センター 環境プラザ
--

主要課題

1. 安全性の向上と環境保全を重視した、より質の高い居住環境づくり 2. 確実に進む少子高齢化に対応した、保健・医療・福祉体制、子育て体制の強化 3. 子どもたちの育成と生涯学習社会の形成に向けた、教育・文化・環境の充実 4. 町の活力の維持・向上に向けた、自立した産業の育成 5. 計画的な土地利用の推進と都市基盤の整備 6. 自立を高めるための町民と行政との協働体制の確立、行政改革の継続的推進
--

地域づくりの事業等

防災の強化 庁内に部課横断型の防災プロジェクトチームを設置し、町民総参加による安全・安心なまちづくりを目指す。ハード面においては、小中学校や幼稚園など、災害時に避難場所となる建物の耐震強化や消防詰所の整備を行う。また、ソフト面においては、講演会の開催や、自主防災組織を活用した避難方法など実践的な訓練を実施し、防災意識を高め、「自助・共助・公助」による地域防災力の向上を図る。 ごみの減量化 住民が一体となって、ごみの減量化に取り組んでいくため、環境教育のリーダーとなる次代を担う子どもたちを公募し、エコロジーに対するさまざまな体験を通して理解を深めてもらう「子ども環境学園」を開催する。 まちの魅力発信 まちのよりよいイメージを定着させるため、戦略的かつ効果的なプロモーションの展開により「まさき」を全国に発信し、まちの活性化を図る。

市町が出資している地方公社の設立状況

(平成25.4.1現在)

形態	地方公社の名称	設立登記 年月日	資本金(千円) 出資割合(%)	主 な 事 業 内 容
(特)	松前町土地開発公社	昭48.6.23	5,000 (100)	公有用地の先行取得及び造成事業

総合計画

基 本 構 想			基 本 計 画
計 画 の 名 称	議決年月日	期 間	期 間
第4次松前町総合計画	平21.12.8	平22～平31年度	平22～平31年度

行政機構

(平成25.4.1現在)

